

千曲市長 小 川 修 一 殿

千曲市総合運動公園についての提言

千曲市議会議長 小玉 新市

令和5年3月に千曲市総合運動公園基本構想の策定が完了し、各エリアの基本計画の策定が進められる中で市議会の千曲市総合運動公園等に関する特別委員会においても調査・視察を行ってきました。

このほど、千曲市総合運動公園に関しての提言を下記のとおりまとめましたので、提出いたします。

記

1. **新たな屋内体育施設の整備**

スポーツ合宿や大会に利用できる太陽光など自然エネルギーを備えた新たな体育館を早期に整備し、老朽化している戸倉体育館は耐震化をしないで解体すること

2. **白鳥園エリア多目的広場ゾーンの整備見直し**

白鳥園エリア多目的広場ゾーンは総合運動公園基本構想の一部として進め、多くの市民が集う仕組みをつくり、魅力ある公園として整備すること

3. **多目的に使用ができる野球施設の早期建設**

市営野球場は野球以外のスポーツや様々なイベントにも利用できる多目的野球場として早期に整備すること

以上

別紙 詳細説明

- 1
 - ・国民スポーツ大会までに新体育館を建設し、大会競技を新体育館で実施できるように整備すること
 - ・新体育館は防災機能を充実させるとともに環境に配慮し、スポーツ合宿・大会・イベント利用できる施設にすること
 - ・戸倉体育館の耐震工事では追加で雨漏りや床等の修繕費用が見込まれ、全体で多額の費用がかかるため、耐震化をしないで戸倉体育館は解体すること

- 2
 - ・白鳥園エリア多目的広場ゾーンの整備については、総合運動公園基本構想と切り離して整備を進めているが、総合運動公園基本構想の一部として進めること
 - ・白鳥園エリア多目的広場ゾーンは、南側の魅力創出ゾーンと相乗的な効果が引き出せるようトイレや遊具を設置し、子育て世代や地域ニーズを反映させること

- 3
 - ・市営野球場の建設については市民の要望からスポーツ振興基金の積み立てが始まり、令和5年3月の千曲市総合運動公園基本構想の策定となっているため、用地の確保ができ次第、速やかに野球場の建設に着手すること
 - ・市営野球場は野球以外のスポーツや様々なイベントにも利用できる多目的スポーツ施設として建設すること